

埼玉県・オハイオ州スカラシップ<語学・大学留学コース>

令和3年度派遣レポート 10月

「異文化体験、冬の足音」

令和3年度奨学生 塚林光ジョナサン

フィンドレー大学における日本文化体験

フィンドレー大学は日本専攻、日本文化クラブやJASCO（セントラルオハイオ日米協会）が協賛する異文化体験イベントなど、日本や異文化に興味を持ってもらえるイベントを開催しています。

● ランゲージテイスティング

ランゲージテイスティングは日本語、スペイン語、そしてアメリカ式の手話に触れることができる異文化体験イベントです。

日本語ブースでは、教える側として参加しました。1から10までの数字を教え、ソーラン節を踊りながら数えました。数字を教える際には英語で発音の近い言葉、例えば、5であれば、『行く（GO）』を交えて教えるなど工夫しました。

スペイン語ブースでは、参加者として参加しました。私のスペイン語の講義を担当している教授が「サルサ」と呼ばれるプエルトリコからの移民がニューヨークで生み出した踊りを交えて、1から4までの数字を教えてくださいました。

アメリカ式の手話ブースにも参加者として参加して曜日の歌を手話で行いました。アメリカ式の手話のみならず、手話は、英語や日本語などの音声言語と同時に行うことのできる唯一の言語であること、さらにロックダウンでの集会等においては、マスク着用により相手の表情が見えないことから、コロナ禍がろう社会に大きな影響を及ぼしていることなどを、このブースで学びました。

日本語ブースでは教える側として、数週間前からソーラン節の踊りを覚えるなど、クラスメイトと一緒にランゲージテイスティングに参加しました。このように大人数が集まって他の言語や文化に触れる機会があることは、学生の学習意欲や興味を惹き、視野を広めることができると考えます。



- 和菓子教室

JASCO が主催したこのイベントでは、練り切り作りを体験することが出来ました。私は一度も和菓子を作ったことが無かった為、初めての体験となりました。JASCO の助成金も出て参加費用は3ドルに抑えられたので、多くの学生が参加していました。



- 『君の名は』鑑賞会及び講演会

このイベントでは映画『君の名は』について心理学的、文学的視点から映画を考察し、参加者と議論しました。学生自治会の助成金によって飲み物やお菓子も用意されました。ゲストスピーカーとして東アジアや日本文化専門のマイケルタンジマン教授と、ソーシャルワークなどカウンセリングを中心として様々な学位を持つジェシーチューダータンジマン教授が招かれました。文学的な視点、メンタルヘルスといった心理学的な視点からどのように映画を解釈したのか、映画のメッセージについて講演し、参加した学生と共に議論を行いました。

10月から11月にかけてのフィンドレーの気候

10月から曇り空や雨といった天気が続き、ハロウィン手前の10月下旬からは急激に気温が下がるなど、パーカーやコートといった防寒具を着る人の姿が目立つようになりました。11月上旬に入って朝を起きると霜が下りていることもあります。今月中には気温が氷点下まで下がる予報も出ており、冬服の準備が必須になります。日本人留学生のみならず、現地の学生も体調を崩しやすい時期であるため、しっかりと体調管理や生活環境への配慮が重要になってきます。





埼玉県・オハイオ州スカラシップ派遣プログラムにご興味のある方や、フィンドレー大学について詳しく知りたい方は tsukabayashih@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。留学や現地の生活についての悩みや不安を解消できればと思います。